

原発の街 600人

福井・敦賀 未来考える集い

小出氏を迎えて開
かれた講演会13
日、福井県敦賀市



「未来は創れる!!今
できることを」〜原発
と福井・若狭のこれか
らの時代〜をテーマに
した集いが13日、福井
県敦賀市のきらめきみ
なと館で開かれまし
た。原発立地の街で、
県内の青年や母親など
の有志でつくる実行委
員会が主催。臨時送迎
バスも運行され、会場
には600人が詰めか
けました。

ステージではレゲエ
やフォークソング、う
たごえ合唱などのライ
ブが行われたほか、絵
画や書道、焼き物など
の作品が会場内に展示

されました。実行委員
長の河合良信さん(31)
「あわら市」は「今必
要だと思うのは、賛成
とか反対の立場を超え
てみんなで話し合い、
未来を考えることで
す。こうやって集まっ
て考えられることをう
れしく思います」とあ
いさつしました。

講演を行った京都大
学原子炉実験所助教の
小出裕章氏は、原発が
なくても火力や水力な
どの発電設備容量で最
大需要電力量に対応で
きることをデータで示
し、「一刻も早く原子
力から足を洗うべき
だ」として自然エネル
ギーへの転換の必要性
を訴えました。

滋賀県高島市から参
加した女性(30)は「脱
原発で、電気が足りな
くなったらどうするか
と言われると答えら
れなかったが、小出さ
んの話で確信をもて
た。脱原発の流れを自
分たちの力でつくって
いきたい」と話しまし
た。